

献辞

中村宏先生は、二〇一三年三月末をもって神戸学院大学を退職され、同年四月より神戸学院大学名誉教授となられました。

中村先生は一九九〇年四月に法学部教授として着任されて以来二三年間、政治学の教育・研究に従事され、大学ならびに法学部の発展のために力を尽くしてこられました。

先生の旺盛な研究活動は福祉国家論、政治制度、日本の政治文化など多方面にわたり、長年のイギリス政治研究、島根大学在職中の地方政治研究および一九九四年から一年間のオックスフォード大学留学の果実である『地方選挙——英国、日本、ヨーロッパ——』（神戸学院大学法学研究叢書第七巻、日本評論社、一九九六年）には先生の研究成果が凝縮されています。

また、中村先生は神戸学院大学評議員、将来計画検討委員、入試問題委員長、さらには一九九七年四月から一九九九年三月まで法学部長の要職に就かれるなど大学運営・学部運営に多大な貢献をされました。その豊かなご経験に基づき、学部が様々な難問に直面した時、法学部教授会の内外で再三再四有益かつ適切なご意見をいただきました。

二〇〇七年四月のポートアイランドキャンパス開設に伴う法学部カリキュラム改正の審議では、高校から大学への導入教育としての一年次専門ゼミについて、その内容上、専門教育に値しないと厳しくご批判されるなど、

先生の鋭利な論理展開には幾度も敬服しました。時が経ち、二〇一五年四月の法学部右記キャンパス全学年移転に併せて、再びカリキュラム改正作業が進められています。大学の大衆化の流れが加速し、それに対応すべき大衆教育の改革に直面している今、法学部の専門教育はどうあるべきか、中村先生ならどのような厳しいご意見を主張されるのだろうか。先生の優しく、時として鋭い眼差しを思い浮かべているところです。

中村宏先生の長年にわたるご尽力とご貢献に心より感謝と敬意を表しますとともに、今後の先生のご健勝とますますのご活躍を祈念し、謹んで本号を献呈させていただきます。

二〇一四年三月

法学部長 角森正雄